

# さくらんぼ

自ら動き、感じ、楽しむ  
～笑顔あふれる幼稚園～



NO. 4 令和4年9月22日発行  
山口大学教育学部附属幼稚園  
URL: <http://www.ymg-kg@yamaguchi-u.ac.jp>

## いよいよ！「元氣ももり！もりのようちえんピック」

夏休みの間に、心も体も一回り大きくなった附属幼稚園のみなさん。子どもたちは日ごろから、ダンスを踊ったり跳び箱をしたりすることを楽しみ、もっとやってみたい！と運動会への気持ちも高まっています。運動会の競技は、普段楽しんでいる遊びの中から、子どもたちが楽しんでできることを選んで考えています。いよいよ本番を迎える前に、これまでの子どもたちの生活をご紹介します。

### 初めての運動会（花組）



夏休み明けの子どもたちの体つきや話し方が、前よりしっかりとしている印象を受け、お休み中にもいろいろな経験を蓄えて楽しい日々を過ごしたのだろうなと思いました。一か月半ぶりというのが嘘のように、子どもたちは初日からエンジン全開！廃材で工作をしたりヒーローやプリンセスになったりと一学期の終わりにしていた遊びを存分に楽しんでいました。

一学期から、ヒーローやお巡りさん、プリンセスや魔法使いになって遊ぶことが大好きな花組さん。園庭に出ると「先生、ここはおばけの森だから気をつけて！」と木の間に隠れているお化け（の的）を探し、おばけ退治が始まります。廃材でつくった武器やステッキや髪飾りができあがると「おばけが出たんだって！見に行こう！」と保育者だけでなく友達にも声をかけて誘うようになりました。男の子も女の子も自分の好きなものになりきって向かう相手は、共通の敵（保育者やお化け）で、友達と声をそろえて戦ったり、倒したことをみんなで喜んだり、倒れた仲間を助けたりと、友達と同じような気持ちで遊ぶことを楽しんでいます。

普段の好きな遊びに加えて、2学期は運動会という大きな行事もあり、体を動かして遊ぶことが楽しくなるようにと考えています。

日頃から親しんでいるお化けをテーマに的あてを楽しんだり、星組さんから運動会で踊るダンスを教えてもらったり、小学校の運動場に遊びに行つてのびのびと走ることを楽しんだり、子どもたちのペースに合わせて生活や遊びの中に「体を動かすこと」や「運動会」を散りばめてくようにしています。ある日、保育室前に準備したジャンプの場に興味をもった子どもたちが集まってきました。何度かジャンプをした後に、保育者が「お！手を大きく上げてジャンプだ！」と子どもたちのジャンプする様子を実況していきました。その様子を見て、同じように手を広げて跳ぶ子どももいれば、「私はこんなこともできるよ！」と回転しながらジャンプする子どもも！負けじと「僕は強いパンチジャンプ！」と拳をあげたり「僕はカエルジャンプ。」「私はネコジャンプ！」となりきったりし、一人一人自分なりに跳び方を考えながら楽しんでいました。またある日は、「ダンスに出てくる動物になって踊ったら楽しそうだね。」と保育者が動物のお面をつくる提案をすると、ノリノリな子どもたちは自分の好きな動物を選んでクレパスで楽しそうに顔を描きました。かわいい顔、かっこいい顔、強そうな顔と一人一人思いをもったり、好きな色を使ってのびのびと描いたりし、自分なりの素敵なお面が出来上がりました。中には「私はウサギもライオンもソウも好き！」と3つの動物の顔をつける子どももいました。

走ったり跳んだり体を動かすことが楽しくなっている子どもたちですが、花組さんにとっては「初めての運動会」です。いつも遊びに行く運動場の雰囲気とは違い、運動会当日はたくさんの方がいて、びっくりするかもしれません。楽しみたい気持ちがありつつも、不安になったり、おうちの人と一緒によくなったりすることもあるかもしれません。花組の子どもたちにとっては、あの大きな運動場に立つことだけでもとっても立派なことです。運動会を迎えるまでに楽しみな気持ちをもってきたことには変わりありませんので、子どもたち一人一人の頑張りをしっかりと受け止めていただければと思います。温かな応援をお願いいたします。（雨谷）

### 一緒によーいどんしよう！！（風組）

先日の身体測定で、体操服に着替えていると「そういえばプールはいつするの？」「エビカニクスやりたい。」とプールのときの着替えを思い出した風組さん。9月は体操服で運動会ができることと運動会にもダンスがあることを伝えると「えー！」と嬉しそうにして

いました。明るく前向きなところも風組さんの素敵なおところ。身体測定後、体操服のまま園庭に出てみると「なんか、この服だったら速くなる。」「Aくん、一緒によーいどんしよう！」と自然と走りだす子どもたち。大庭に引いてあるトラックを何周も走る子どもたちに「どうやったら、そんなにかっこよく走れるの？」と保育者が聞くと「手はパーカグーにする。」「足を前に出す。」「力を出したらいいと思う。」など、自分なりの走り方を考えている子どもたちもいました。楽しんで走る子どもたちもいれば、保育者の横にいて「走るの遅いから嫌だ。」と言う子どもたちもいます。年中児になると、自分と自分以外を比較しながら自分を見られるようになっていくことに成長を感じました。苦手な気持ちもありながら、やってみようと踏み出すその一歩に素晴らしい価値があることを伝えていきたいと思います。

今年の運動会のテーマが風組さんにぴったりの「もりのようちえんピック」に決まった瞬間、Bくんたちは虫捕りが好きだな、Cちゃんたちはお揃いのチョウの羽をつけて遊んでいたな、Dちゃんたちはカナヘビを可愛がっていたし、Eくんたちは凶鑑で調べて空き箱で昆虫をつくって遊んでいたなと、すぐに一学期の子どもたちの姿が思い浮かびました。運動会で虫捕りをしようと思い、保育者が子どもたちを見習って、廃材で昆虫やトカゲの土台をつくり、それに折り紙を貼って色を付けていると「何してるの？」とFちゃん。森の生き物をつくって運動会で使いたいと思っていることを伝え「やっぱりカブトムシは茶色がいいかな？黒もいいよね？」と保育者が言うと、Fちゃんは「ピンクでもいいんじゃない？」とピンクの折り紙をもってきて貼り始めました。その様子を見たGくんやHちゃんたちも加わって、カラフルな森の生き物たちが誕生しました。ダンスで使う動物のお面も自分でつくりました。カラフルな森の生き物や動物のお面には、運動会で使うものを友達と一緒に作ることで運動会が楽しみになるといいなという思いもこもっています。

運動会までの日々も含めて、子どもたちがそれぞれの楽しみ方で運動会を楽しめることを願っています。（中原）



### 自分なりの目標をもって 元氣いっぱいチャレンジ☆（星組）

2学期が始まってすぐに、跳び箱や鉄棒などの運動遊びに挑戦したり、ダンスの曲を決めてみんなで踊ったりするなど、運動会に向けての生活が始まりました。跳ぶときに、跳び箱から手が離れていたAくん。「跳

べんよ。」と言いながらも何度も挑戦していたAくんの様子を見ていたBくんが近くに来て、「お手本見せようか？」と進んでAくんにお手本を見せていました。その日は跳べませんでしたが、次の日もAくんは跳び箱に挑戦します。すると、繰り返し頑張るAくんの姿を見ていたCくんやDくんも、一緒にチャレンジするようになりました。友達の頑張る姿に刺激を受け、難しいことにもチャレンジしようとする姿には嬉しい気持ちになりました。コツをつかみ、何度も跳ぶうちに、Aくんは2段から4段、5段も跳べるようになりました。とても喜んでいたAくんでしたが、6段が跳べるようになりたい！というさらなる目標を持ち、「今日は跳び箱しかせんよ。」とひたむきに挑戦していました。そして、「跳べるようになったから、みんなに見せたい。」と言う子どもがいたので、お帰りの時間に披露することにしました。子どもたちは、自分がチャレンジしたい跳び箱の高さを選び、友達の前で披露します。中にはお尻がついてしまう子どももいましたが、「おいしい！」「もう一回やったら？」と子どもたちから優しい言葉が出てきて、跳べるまで何度もチャレンジしました。初めは見るだけだった子どもたちも「やってみていい！」と後から挑戦しました。披露することでさらに自信をもつ子ども、やってみてやれる気が出てくる子ども、「OOちゃんはすごい！」と友達の頑張りを認めている子どももいました。そして、「運動会でお母さんやお父さんにも見せたい！」と張り切っていました。「小学校の運動場を特別に貸してもらいました。みんなで一緒に走ってみようか。」と保育者が尋ねると、「行きたいー！」と子どもたちは大喜び。ワクワクしながら小学校の運動場に行きました。広くて思い切り走れる運動場でのかけっこが楽しかったようで、帰ってきてからも、「明日も小学校行く？」「またやりたい。」とやる気が高まったようでした。その後も、暑い日が続く中、星組は毎日小学校の運動場に行って、かけっこやリレー、障害走をしていきました。繰り返していくうちに、やり方を理解した子どもたちは、自分の力を思う存分発揮するようになってきました。初めて障害走をしたとき、「早くゴールしたい！」という気持ちが強かったようで、マットを抜かしてしまったり、ウレタン平均台の上を走ってしまったりと慌てる様子が見られました。「これは、競争じゃないから、落ち着いてやろうね。今まで頑張って練習してきたかっこいいところを見せよう！」と声をかけると、マットや跳び箱、鉄棒などの一つひとつの技に落ち着いて取り組むようになっていき、ゴールした子どもたちは「やり切ったぞ！」という充足感に満ちた表情をしていました。リレーでも、繰り返していく中で、「OOくんは足が速いから、最後の方

がいいね。」「(違うチームの) OOちゃんと一緒に走りたいんよ。」「手を伸ばすとバトンが取りやすいね。」などと、子どもたちなりに考えながら取り組む姿が見られるようになってきました。

星組にとって、幼稚園最後の運動会ですが、全学年一堂に会しての運動会は今回が初めてです。運動会本番では、緊張や不安で今までできていたことができないこともあるかもしれません。しかし、これまでに自分なりの目標をもって何度も繰り返しチャレンジしてきたこと、友達と

励まし合ったり競い合ったりしながら一緒に楽しんできたことを大切にして、最後まで元気いっぱいチャレンジする姿をぜひご覧いただけたらと思います。(松村佳)

子どもたちに歌詞も人気の「ジャングルエクササイズ ZOO」歌詞に合わせたかわいいダンスになっています！  
お楽しみに！！

### ジャングルエクササイズ ZOO





Don Don Don Don Jungle Don Don Don Don Jungle どんどんいこう もりのなか

おれはライオン よろしくガオガオ じまんのたてがみでごあいさつ  
だれよりもつよい りくのおうさまだ このもりでいちばんえライオン 「ガオー ガオー ガオー」

わたしはうさぎ よろしくピョンピョン なが〜いおみみでごあいさつ  
おめめはクリクリ おはなはヒクヒク しっぽはまんまる おつきさま 「ピョーン ピョーン ピョー——ん」

ぼくはナマケモノ よろしくムニャムニャ はたらきたくない ねていたーい  
いつもマイペース それがモットーさ タワケモノじゃない！ナマケモノ 「ふぁ〜 ふぁ〜 ふぁ〜〜」

さあだいぼうけん いっしょにでかけよう ワクワクドキドキ なにかがまってるかな  
Don Don Don Don Jungle Don Don Don Don Jungle どんどんいこう もりのなか

わたしはゾウさん よろしくパオパオ なが〜いおはなでごあいさつ  
おおきなからだで たくさんたべるよ いただきマンモス ごちゾウさん 「パオー パオー パオー——ん」

おいらアルマジロ よろしくゴロゴロン ぐるっとまわってごあいさつ  
せなかをまるめりゃ いしよりかたいぞ そんなことってアルマジロ!? 「ぐるぐる ぐるぐる ゴロー——ん」

せっしゃモモンガ よろしくニンニン しのびのポーズでごあいさつ  
ふるしきひろげて よぞらをまうのさ HIMAWARI りゅう モモンガのじゅつ 「スイー スイー スイー」

「ガオー ガオー ガオー」 「ピョーン ピョーン ピョー——ん」 「ふぁ〜 ふぁ〜 ふぁ〜〜」  
「パオー パオー パオー——ん」 「ぐるぐる ぐるぐる ゴロー——ん」

♪スピードアップ 1 2 3 4  
Don Don Don Don Jungle Don Don Don Don Jungle どんどんいこう もりのなか  
Don Don Don Don Jungle Don Don Don Don Jungle どんどんいこう もりのなか

ライオン「ガオー」 うさぎ「ピョンピョン」 ナマケモノ「ふぁ〜」  
ゾウさん「パオー——ん」 アルマジロ「ゴロー——ん」 モモンガ「スイー」  
かたあしでとまれ—— ハシビロコウ!






